



鳥取県災害警戒本部会議

【日 時】令和7年2月21日(金) 午後4時30分～

【場 所】災害対策本部室（県庁第2庁舎3階）

【参加者】知事、統轄監、関係部局、県警

**鳥取地方気象台、鳥取河川国道事務所、NEXCO西日本
市町村、総合事務所**

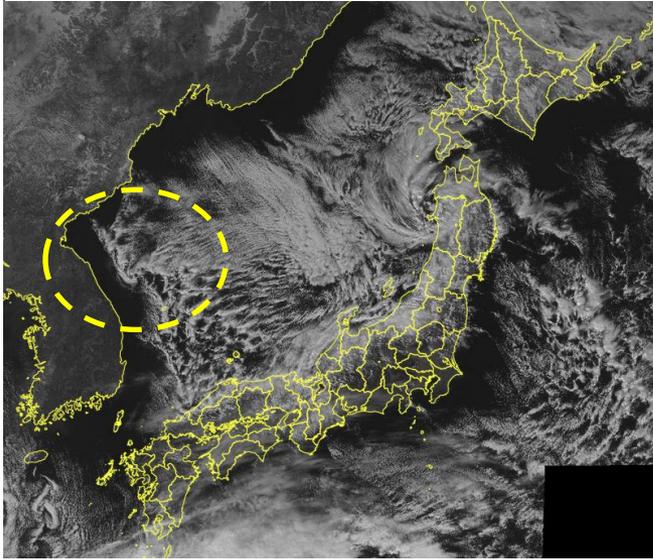
(配信) 倉吉河川国道事務所、日野川河川事務所、消防局、自衛隊（米子駐屯地）、中国電力(株)・中国電力ネットワーク(株)、N T T西日本(株)、J R西日本(株) 等

【次 第】

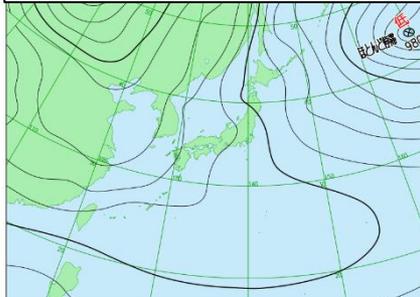
- **最新の気象状況及び今後の予測等**
- **車両滞留に係る対応の確認**
- **警戒・即応体制の確保と確認**

実況と予想天気図

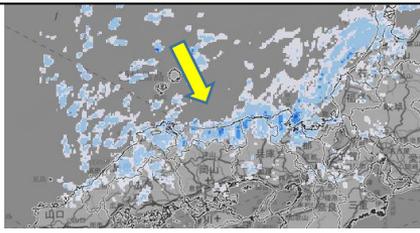
衛星(可視)画像 2月21日13時



地上天気図 2月21日9時

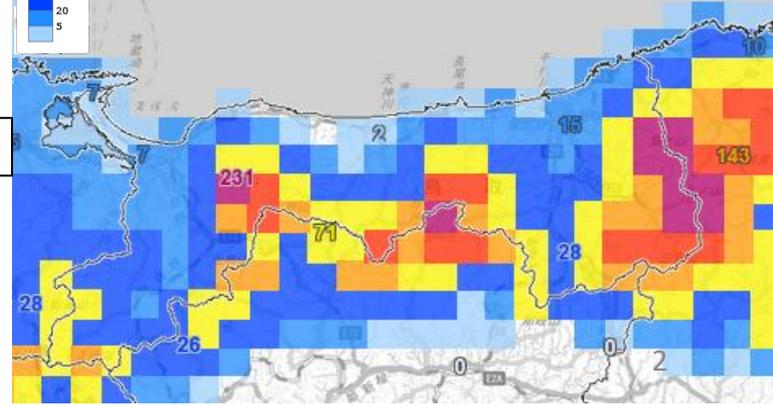


レーダー画像 2月21日13時

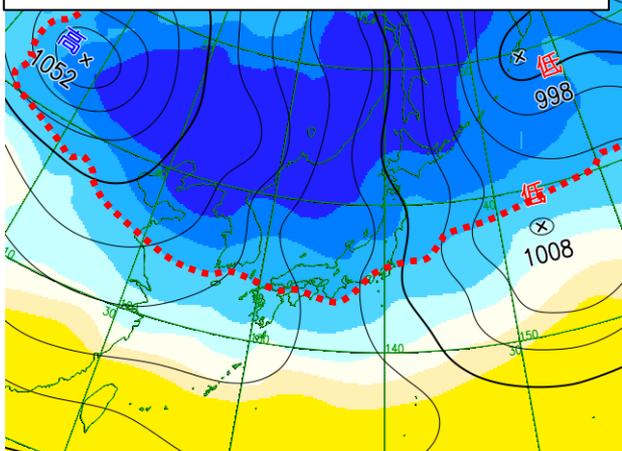


解析・予報
ノメダス
cm
200
150
100
50
20
5

2025年2月21日13時現在
アメダス積雪深+解析積雪深

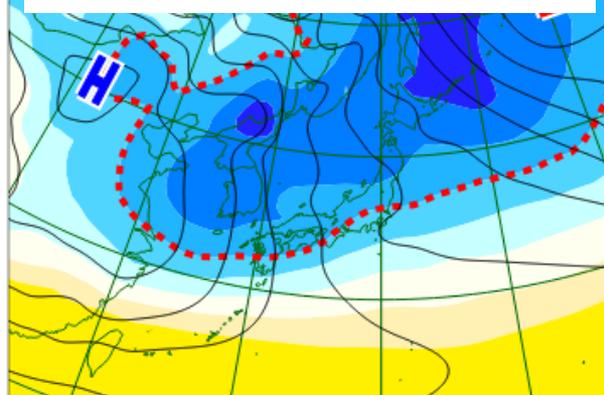


2月22日21時の予想天気図

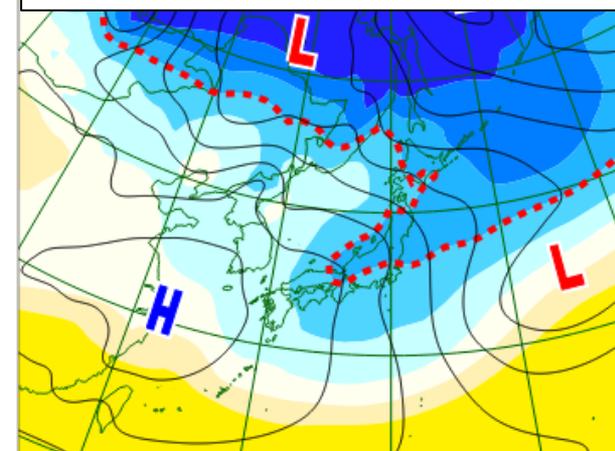


23日21時の予想天気図

点線は上空約1500メートルの -9°C



24日21時の予想天気図



上空約1500メートルでは、 -9°C 以下の強い寒気が中国地方にかかる

-30 -15 -12 -9 -6 -3 0 3

明後日(23日)までの予想

	21日				22日								23日				
	12-15時	15-18時	18-21時	21-24時	0-3時	3-6時	6-9時	9-12時	12-15時	15-18時	18-21時	21-24時	0-6時	6-12時	12-18時	18-24時	
	昼過ぎ	夕方	夜の はじめ頃	夜遅く	未明	明け方	朝	昼前	昼過ぎ	夕方	夜の はじめ頃	夜遅く					
早期注意情報 [大雪]									[中]	[中]	[中]						
大雨(浸水) (ミリ)	東部	1	1	1	1	5	1	10	10	1	1	1	1				
	中・西部	1	1	5	5	1	1	10	10	1	1	1	1				
大雪 (センチ)	東部	平地	4	1	1	1	1	2	6	6	4	3	3	1			
		山地	6	4	4	4	3	3	10	8	7	6	4	2			
	中・西部	平地	4	1	2	2	2	2	6	6	4	3	3	2			
		山地	6	5	5	5	3	3	10	8	7	6	4	3			
雷	鳥取県	注	注	注	注	注	注	注	注	注	注	注	注				
風 (メートル)	東部	陸上	6 ↓	5 ↓	4 ↻	5 ↻	8 ↻	12 ↻*	13 ↓*	12 ↓*	8 ↓	7 ↓	6 ↻	4 ↻			
		海上	8 ↓	8 ↻	10 ↻	12 ↻	13 ↻	15 ↻*	18 ↓*	15 ↓*	10 ↓	8 ↓	7 ↓	7 ↓			
	中・西部	陸上	7 ↓	6 ↓	6 ↻	7 ↻	8 ↻	12 ↻*	13 ↓*	12 ↓*	8 ↓	7 ↓	6 ↻	4 ↻			
		海上	8 ↓	8 ↻	10 ↻	12 ↻	13 ↻	15 ↻*	18 ↓*	15 ↓*	10 ↓	8 ↓	7 ↓	7 ↓			
波浪 (メートル)	鳥取県	2.5	2	2	2	2.5	2.5	3	3	3	3	2.5	2				
なだれ																	

警報級
注意報級
* 雪を伴う

【雪】

22日対象に大雪(着雪)注意報を発表の見込み。寒気が強く、警報級の大雪や短時間に降雪が強まる可能性があります。引き続き、24日頃にかけて断続的に雪が降り、留意。

【風・波】

22日は、雪を伴った強風となり、海上では波が高くなる見込み。風雪、高波に注意。

■ 24時間降雪量(多い所) ■

(21日12時~22日12時)

東部 平地 20センチ
山地 40センチ
中・西部 平地 20センチ
山地 40センチ

■ 24時間降雪量(多い所) ■

(22日12時~23日12時)

東部 平地 10センチ
山地 30センチ
中・西部 平地 10センチ
山地 30センチ

【雪】

- ◆ 上空の寒気が強まり、22日は**警報級の大雪となる可能性あり**。積雪や路面の凍結による交通障害に十分注意し、着雪による倒木や電線切断、なだれに注意。ビニールハウスは倒壊のおそれがあるため、注意が必要。今後も、24日頃にかけて断続的に雪が降り留意。

【風、波】

- ◆ 冬型の気圧配置が強まり、22日は、雪を伴った強風、高波に注意。

【雷】

- ◆ 上空の強い寒気の影響で大気の状態が不安定となるため、落雷、突風に注意。

※低温

- ◆ 24日頃にかけて、沿岸部でも最低気温が0℃以下に下がる見込み。路面の凍結や断続的な降雪により積雪が増える所があることに留意。

最新の気象情報は、HP等で確認をお願いします。

気象状況

14日前～6日前

大雪の数日～約1日前
大雪の可能性が高くなる

大雪の半日～数時間前

大雪の数時間～2時間程度前

大雪となる

雪の降り方が一層激しくなり、記録的な大雪のおそれがある

広い範囲で数十年に一度の大雪

早期天候情報

早期注意情報 (警報級の可能性)

大雪注意報

大雪警報に切り替える可能性が高い

大雪注意報

大雪警報

大雪特別警報

気象庁の情報・対応

大雪に関する早期天候情報 <冬季の日本海側>
(その時期としては10年に1度程度しかおきかないような著しい降雪量となる可能性が高まっているときに注意を呼びかけ)

大雪に関する気象情報
(概ねの対象地域や予想降雪量を示して、大雪となる可能性を共有)

記者会見
(大雪により社会的に影響が大きいと予想される場合に実施)

大雪に関する気象情報
(大雪に対する警戒を呼びかけ)

(大雪に対する一層の警戒を呼びかけ)

大雪に関する気象情報
(大雪に対する厳重な警戒を呼びかけ)

降雪が大雪警報の基準を大幅に上回る場合や、普段雪の少ない地域で大雪警報級の降雪が予想される場合

顕著な大雪に関する気象情報
(短時間の大雪に対する一層の警戒を呼びかけ)

見出し文のみの短文形式情報

重大な災害の発生する可能性が高まり、一層の警戒が必要となるような短時間の大雪となることが見込まれる場合

記者会見
(大雪に対する最大級の警戒を呼びかけるために実施)

他機関との連携

大雪に対する緊急発表
(国交省と共同)

状況に応じ随時関係機関と協議して報道対応など実施

大雪による被害



- ・鉄道の間引き運転 (少雪地)

- ・高速道路の通行止
- ・交通機関の運休

- ・立ち往生車両の発生
- ・農業用ハウスや簡易的な建物の倒壊

- ・幹線道路の通行止
- ・孤立集落の発生

- ・大規模な交通渋滞

- ・住宅の倒壊

情報発表のタイミング

2週～6日前

5日前

3日程度前

1、2日前

数時間前

大雪

大雪に対する一層の警戒を呼びかけ

- 「大雪に関する気象情報」発表
(大雪に対する厳重な警戒を呼びかけ)
- 「顕著な大雪に関する気象情報」発表
(短時間の大雪に対する一層の警戒を呼びかけ)

数十年に一度の降雪量となる大雪

社会的に影響を与える降雪が予想される場合は、段階的に情報を発表します。

「早期天候情報」発表

大雪に関して、近畿日本海側と山陰の地域を対象に注意を呼びかけます。
発表日（原則として月・木曜日の14時30分頃）の6日先から14日先までを対象として、5日間降雪量が「かなり多い」となる確率が30%以上と見込まれる場合に発表します。

※降雪量が「かなり多い」とは、その時期にその地域で10年に1回程度の降雪量。

「早期注意情報（警報級の可能性）」発表（明後日以降5日先まで）

警報級の現象となる可能性を、「高」「中」「－」で発表します。

「気象情報」発表

強い冬型の気圧配置などにより、社会的に影響を及ぼす降雪が予想される場合に発表します。

「早期注意情報（警報級の可能性）」発表（明日まで）

警報級の現象となる可能性を、「高」「中」「－」で発表します。

「気象情報」発表

多雪地帯で大雪警報基準以上の降雪が予想される場合、または雪が少ない地域で大雪注意報基準以上の降雪が予想される場合に「大雪に関する気象情報」を発表します。また、雪に対する備えのできていない寒候期初期や普段は雪がほとんど積もらない地域での積雪など、社会的に影響を及ぼす降雪が予想される場合は「雪に関する気象情報」を発表します。

「警報、注意報」発表

警報・注意報それぞれの基準を超える大雪が降ると予想される場合に大雪警報・注意報を発表します。

雪を伴って風が強く、風雪により交通障害等が発生するおそれがある場合は暴風雪警報・風雪注意報を発表します。

大雪注意報	東部	鳥取地区	平地 12時間降雪の深さ15cm	風雪注意報	東部	鳥取地区	陸上 12m/s *3, 海上 15m/s 雪を伴う	
		八頭地区	山地 12時間降雪の深さ25cm			八頭地区	12m/s 雪を伴う	
中・西部	倉吉地区	平地 12時間降雪の深さ15cm	陸上 12m/s, 海上 15m/s 雪を伴う	中・西部	米子地区	陸上 12m/s, 海上 15m/s 雪を伴う		
	日野地区	山地 12時間降雪の深さ25cm * 1			日野地区	12m/s 雪を伴う		
		12時間降雪の深さ25cm						
大雪警報	東部	鳥取地区	平地 12時間降雪の深さ25cm	暴風雪警報	東部	鳥取地区	陸上 20m/s, 海上 25m/s 雪を伴う	
		八頭地区	山地 12時間降雪の深さ40cm			八頭地区	20m/s 雪を伴う	
		倉吉地区				倉吉地区		
	中・西部	米子地区	平地 12時間降雪の深さ25cm		陸上 20m/s, 海上 25m/s 雪を伴う	中・西部	米子地区	陸上 20m/s, 海上 25m/s 雪を伴う
		日野地区	山地 12時間降雪の深さ40cm * 2				日野地区	20m/s 雪を伴う
		12時間降雪の深さ40cm						

* 1 大山（アメダス）の観測値は35cmを目安とする。

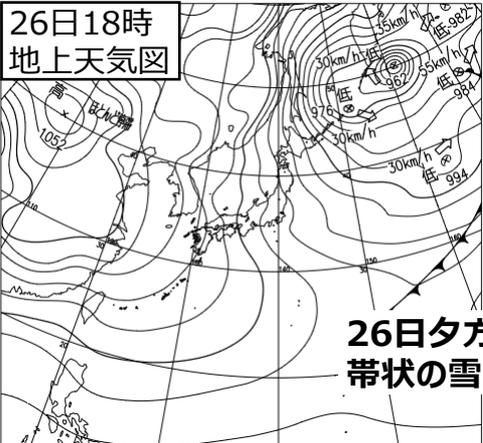
* 2 大山（アメダス）の観測値は55cmを目安とする。

* 3 湖山（アメダス）の観測値は15m/sを目安とする。

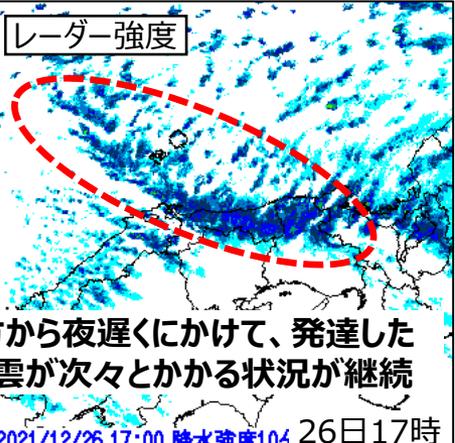
「特別警報」発表

府県程度の広がりをもって50年に一度の積雪深となり、かつ、その後も警報級の降雪が丸一日程度以上続くと予想される場合に大雪特別警報を発表します。

26日18時
地上天気図



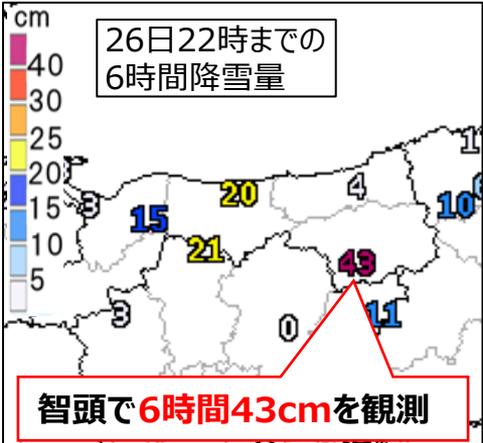
レーダー強度



26日夕方から夜遅くにかけて、発達した帯状の雪雲が次々にかかる状況が継続

2021/12/26 17:00 降水強度10.4 26日17時

26日22時までの
6時間降雪量

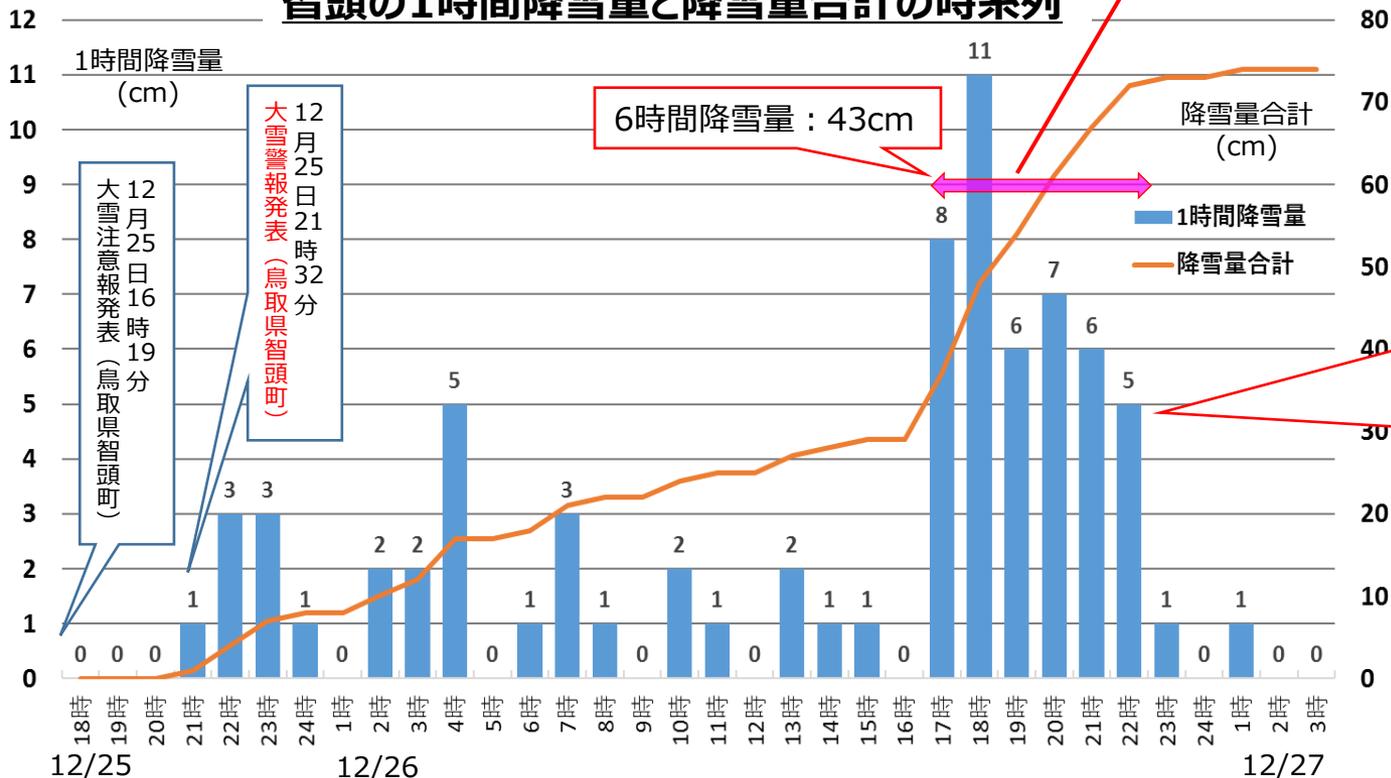


智頭で6時間43cmを観測

発表の目安

中国地方	松江・鳥取・広島・岡山	アメダス地点で6時間降雪量が、平地で30cmまたは山地で40cmに達し、その後も警報級の降雪が続いて、12時間降雪量が警報基準を超過すると予想するとき

智頭の1時間降雪量と降雪量合計の時系列



12月24日
大雪に関する緊急発表

12月25日21時32分
大雪警報発表(鳥取県智頭町)

6時間降雪量: 43cm

12月26日22時17分
顕著な大雪に関する鳥取県気象情報発表

お知らせ

鳥取県気象台 鳥取県気象台 鳥取県気象台

大雪に関する緊急発表
～不要不急の外出は控え下さい～

- 25日夕方から27日明けにかけて、山陰や山陽北部を中心に大雪となる見込みです。特に山陰では26日は長時間に降雪が降り続く可能性があります。【別紙-1】
- 道路利用者の皆様においては不要不急の外出は控えて下さい。
- やむを得ず外出される場合には、冬用タイヤの装着や、タイヤチェーン装着をお願いします。
- チェーン規制の実施や広域規制をお願いする場合がありますので、通行ルートの変更をお願いします。【別紙-2】
- 公共交通機関においても、大規模かつ長時間にわたる遅延や運休が発生するおそれがあります。
- 最新の気象情報及び交通情報に注意し、外出が必要な場合には、十分な時間的余裕を持って行動してください。

車両滞留事案に備えた県の体制

- 2月19日18時30分 災害対策本部設置
智頭町における車両滞留事案の発生による。
- 2月20日9時00分 災害警戒本部へ移行
引き続き警戒体制を維持し、大雪による車両滞留事案等への即応体制を維持。

□滞留事案に対する庁内の主な役割分担

災害対策本部・ 災害警戒本部 (危機管理部)	<ul style="list-style-type: none">● 総合調整、総合統括、庁内体制の確立 庁内連絡体制の確保● 影響、被害情報等の集約・共有(県土整備部と連携)● ドライバー救援、救助の総括● 地元市町村への支援依頼● 地域住民等への広報、注意喚起
県土整備部	<ul style="list-style-type: none">● 道路リスクコントロール(迂回、スタック、車両滞留等)に係る応急対応 解消作業調整、道路除雪の実施 迂回路の設定・呼びかけ● 他の道路管理者(国交省、NEXCO西日本)との連絡調整● ドライバーへの情報提供、注意喚起・周知
総務部	<ul style="list-style-type: none">● 現場への職員派遣の編成(即応可能状態)
その他の部 総合事務所 等	<ul style="list-style-type: none">● 現場への職員派遣● 災害対策本部事務局、支部等への動員 等

道路の除雪体制

1 2/5～2/9・2/18～の大雪を受けた体制の見直し

■ 道路管理者（国・NEXCO・県）と警察による密接な連携を確認

- 誘導員の配置に時間を要する場合は警察官による交通規制を要請するなど、道路管理者と警察が連携して対応（R4.1.12申し合わせ内容の確認）

■ 事前の広域迂回のメッセージを強化

- 大雪の際は主要峠を利用しないよう強く呼びかけ（隣県と調整済）
- 記者発表、県内・隣接県の道の駅、高速道路のSA・PA、道路情報板などで情報を掲示
- 本県利用が想定される中国・四国・近畿・九州地区のトラック協会に呼びかけ

■ 高規格道路通行止め時の迂回路見直し

【例】

- 米子道通行規制時は積雪状況など確認の上で国道313号・鳥取道を迂回路として誘導（従来は国道181号、岡山県と調整済）
- 鳥取道通行規制時は、国道313号・米子道へ誘導
 - 国道313号の除雪を重点実施
 - 迂回路の案内はトリピーメール・道路情報板・道の駅・SA・PAなどを通じて周知

■ リエゾン派遣による情報連絡体制の強化

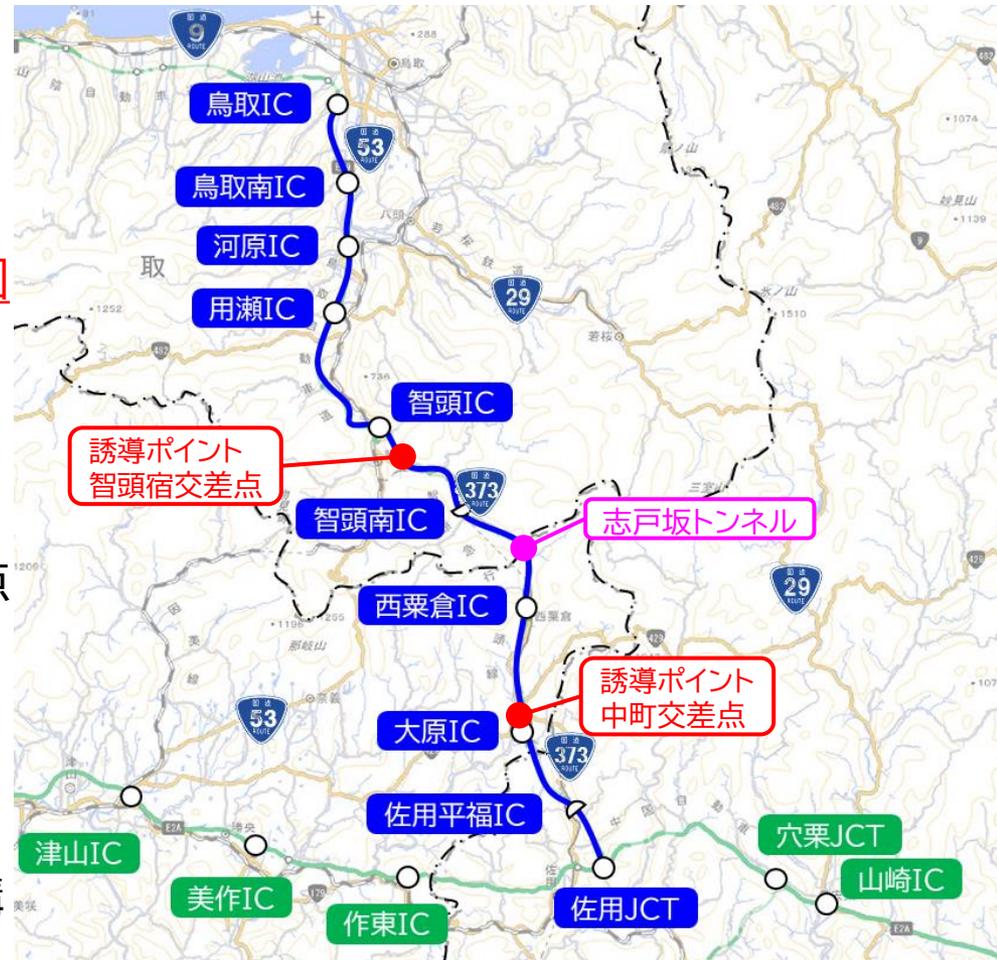
- 県管理以外の道路で滞留事案が予見される場合は速やかにリエゾンを派遣
- 常時接続による関係機関への共有に加え、リエゾンにより詳細な情報を収集
- 初動段階で対応状況・今後の見込みなどの情報を共有し、支援メニューを準備

道路の除雪体制

2 鳥取道通行止め時のオペレーション

**鳥取道が通行止めとなった場合、
国道373号も通行止とし国道
373号へ流入させないことを徹底**

- スタックが発生した時点で、国道373号・国道53号への流入を避けるため、国道313号・米子道などへ広域迂回するよう呼びかけ
- やむを得ず流入する場合は、国道53号と国道373号の分岐点となる智頭宿交差点に誘導員を配置し、**国道53号へ迂回**
- 岡山県側にも誘導員を配置し、**県境に向かっての車両流入を抑制**（岡山県対応）
- 通行止めとする際には、**予告を含め、早い段階で関係機関で情報共有し、体制を構築する**
- 国・NEXCOと連携し、事前に広域迂回を呼びかけ



出典：国土地理院

道路の除雪体制

3 山陰道道通行止め時のオペレーション

- ①山陰道で通行止めを実施
- ②その場合、併行する国道9号側でタイヤチェックを開始し、国道9号側でのスタック発生を防止

予防的通行規制区間: 国道9号(鳥取市伏野～湯梨浜町はわい長瀬) L=30.6km



- ◆鳥取IC～青谷IC通行止め → 伏野PAと龍見台PAでタイヤチェック実施
- ◆鳥取IC～はわいIC通行止め → 伏野PAと長瀬東交差点でタイヤチェック実施 (鳥取・倉吉連携)
- ◆浜村鹿野温泉IC～はわいIC通行止め → 八束水交差点と長瀬東交差点でタイヤチェック実施

道路の除雪体制

4 2/24までの体制

■ 県土整備部の体制

- 関係機関との連絡調整に必要な体制を確保

■ 各事務所の体制

- 除雪指示・関係機関との連絡調整・現地確認に必要な人員の配置・出動
- 他管理者でのスタック事案発生に備えリエゾン派遣体制を確保
- 降雪時などはスタック注意箇所を重点的にパトロールを実施
- 現地到着に時間を要する場合は、近隣の役場職員に現地確認を依頼できるよう市町村と調整済
- 滞留車乗員の休憩所等の開設等について、事務所地域振興課・市町村等へ早期開設準備の協力要請済

県民のみなさまへのお願い

除雪作業にご理解、ご協力を！

生活道路の確保と安全な冬道対策として、除雪作業を行っています。安全かつスムーズに除雪作業を行えるよう、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

- 除雪時の作業騒音にご理解ください。
- 除雪の妨げになる路上駐車はやめましょう。
- 玄関先や車庫前の雪かきは各家庭でお願いします。
- 道路ぎわの樹木、竹等は所有者で伐採しましょう。
- 車道への雪出しはやめましょう。

大雪が予想される時は

大雪が予想される時は不要不急の外出は控えましょう。

- 道路の通行止めや車両の立ち往生、公共交通機関の長期間かつ大規模な遅延や運休が発生することがあります。
- やむを得ず来県される際は、大雪が予想される地域を避けた広域迂回にご協力をお願いします。
- 大型車両などの登坂能力の低い車両は、峠など急な坂道を有する道路の通行は避けてください。

道路の除雪体制

過去の通行止めの経験等を踏まえ、強化した除雪体制により、関係機関と情報共有を図り、連携して県内の道路交通確保に努めている

1 除雪体制

- ① **除雪車の体制**
 - ・ 各道路管理者(国・県・NEXCO)が出動可能な除雪機械を配備
- ② **早期の除雪出動(出動基準5～10cm程度)**
 - ・ 気象状況に応じた早めの出動を全除雪業者に指示
- ③ **全除雪車へのGPSシステムの配備や、路面状況を把握するためのライブカメラを整備・増設**
 - ・ 除雪作業の効率化を図るため、車道除雪を行う全除雪車へのGPSシステムの配備
 - ・ ライブカメラ 国534台(鳥国377台、倉国157台)、県266台(←R5:255台)
- ④ **重点除雪区間の早期交通確保**
 - ・ 豪雪時に広域的な交通と緊急車両等の交通を確保するため、優先的に除雪作業を行う重点除雪区間を設定
 - ・ 降雪・積雪が集中した場合、関係機関と協議した上で集中除雪を行い、除雪完了後、早期に交通開放を行う
- ⑤ **凍結防止剤の散布**
 - ・ 凍結に備え、国管理道路、国道181号、180号、183号をはじめ、国道482号内海峠や国道313号犬狹峠、国道179号人形峠等の県境部において重点的に凍結防止剤の散布を実施
- ⑥ **排雪場の確保**
 - ・ 河川敷などに排雪場を確保し、関係機関とも情報共有
- ⑦ **大型車待避所の確保**
 - ・ 鳥取道や鳥取西道路等の集中除雪(通行止め)時に大型車が退避できるスペースを確保
(布勢総合運動公園、河原除雪基地、武蔵武道館、湯梨浜町臨海公園 等)
- ⑧ **大雪に関する気象情報発表時、県土整備部道路局道路企画課に「情報連絡本部」を設置**
 - ・ 気象情報の発表時は、県土整備部・各事務所職員が待機し情報収集
 - ・ 災害対策本部と関係機関(气象台、国、県(危機・県土、警察)、市町村、NEXCO、岡山県等)で除雪・交通状況等を共有し、連携して対応に当たる(リモート常時接続による情報共有)
 - ・ 通行止めを行う場合には、早期に情報共有を図り、関係機関で連携して体制を強化
 - ・ 県管理以外の道路で滞留事案が予見される場合は速やかに県からリエゾンを派遣

道路の除雪体制

2 各道路管理者と連携した体制

- ① 事前の広域迂回の情報発信を強化
 - ・ 大雪時は主要峠を利用しないよう強く呼びかけ
- ② 高規格道路通行規制時の広域迂回の強化
 - ・ 記者発表、道路情報板への表示、チラシ配布により隣接県を含む地域で広域迂回の呼びかけ
- ③ 事故・スタック発生時の初動の迅速化
 - ・ 速やかに交通規制が行えるよう各インターチェンジへ迅速に誘導員が配置できる体制を構築
 - ・ 立ち往生が予想される箇所に牽引用車両として除雪機を事前待機（国道9号、53号、鳥取道）
 - ・ 初動段階で対応状況・今後の見込みなどの情報を共有し、支援メニューを準備
- ④ 鳥取道及び山陰道の通行止め
 - ・ 鳥取自動車道：佐用JCTから智頭ICまたは河原IC間を一体的に通行止め
⇒国道373号も通行止（「智頭宿交差点（智頭町）」「中町交差点（岡山県）」において迂回誘導）
 - ・ 山陰道（鳥取西道路）で通行止め
⇒国道9号でタイヤチェックを行い、スタック発生を防止（伏野PA、龍見台PA、八束水交差点、長瀬東交差点においてチェックし、未装着車はUターンを誘導）
- ⑤ 冬用タイヤ装着等の徹底
 - ・ 鳥取自動車道（河原IC・大原IC）において、冬用タイヤやタイヤチェーンの装着を確認・指導
 - ・ スタックポイントの手前において大型車にタイヤチェーンの装着を強く呼びかける看板を設置

3 道路利用者等への情報発信

- ① 道路情報板への道路情報の表示
- ② あんしんトリピーメール、雪みちナビ、ホームページ、ケーブルテレビ、ラジオ（NHK第一、BSS、FM山陰）、SNS等により道路利用者に向けて道路通行状況等を情報発信

[情報発信する内容]

- 道路通行規制情報（通行規制開始・規制解除時）
- 道路路面の積雪状況（雪みちナビで随時情報発信）
- 気象情報（注意報・警報発令時）
- 道路利用者への呼びかけ（異常気象時「不要不急の外出を控えてください」）
- 道路利用者へのお願い（異常気象時「広域迂回を行ってください」）

国土交通省の除雪体制

■ 2月19日の鳥取道における通行止め等の状況

- 16:30 駒帰トンネル入口付近（上り線）大型トラックのスタック発生
- 17:30 駒帰交差点～智頭IC 上下線通行止め開始
（18:30頃 渋滞長最大：約5km）
- 19:00 上り線の滞留車両の解消、除雪開始
- 19:20 通行止め解除（下り線）
- 21:45 通行止め解除（上り線）

■ 鳥取河川国道事務所の取組

- 大雪予想時における体制の強化
 - ・地方整備局本局・他事務所からの人員の応援
 - ・他事務所からの除雪機械の応援
 - R53黒尾峠の除雪のため、岡山県側から鳥取県側に除雪トラック2台を派遣
 - 岡山県奈義町馬桑にグレーダを緊急配備
- 現地確認・乗員保護の体制確保
 - ・脱出チェーンや支援物資等を携行した現地巡回・乗員保護班を派遣
 - 職員班2班4名、保守工事応援班1班2名の計3班6名を派遣
 - スタック状況等を把握するとともに、ドライバー救援に向けた体制を確保
 - ・計300人分の食料を準備
- 幅広い媒体による広報
 - ・道路情報板、HP、X、記者発表により、道路情報を一般ドライバーや物流事業者等に周知
- 冬用タイヤチェックの実施
 - ・大原IC等でタイヤチェックを実施
 - 大原ICにてタイヤチェックを行い、鳥取県内へのノーマルタイヤ車の流入を抑制
- スタック発生想定箇所への牽引ドーザの前進配備（冬期常時）
 - 鳥取道 ほき詰橋 国道53号 野原PA
 - ほき詰橋のドーザが鳥取道や駒帰交差点のスタック車両をけん引

- 大雪を想定した従来のオペレーションに加えて、突発的なスタック等に対応するための緊急的なオペレーションも改善するため、国や県等の関係機関が連携して取り組んでいく。
 - ・鳥取道のオペレーションを考えるにあたっては、国道373号への流入を可能な限り抑えていくことが必要。
 - ・峠部で勾配が急である国道373号等によらない、中国道や中部、西部を含めた広域迂回を進めていくことが必要。
(迂回路の設定にあたっては通行可能性の確認が必要)
 - ・緊急的な状況下で行うオペレーションであっても、通行止めのタイミング等について、道路管理者間で緊密に連携して対応することが必要。

米子自動車道の除雪体制

■ 大雪予想時における体制強化《継続》

- 支社、グループ会社からの人員応援により道路巡回体制強化
- 道路巡回班のTeams接続による状況把握
- 受注者からの人員、機械応援による作業体制強化
- 他事務所からの人員、除雪機械応援による除雪体制強化
- 滞留車両発生時に対応するため支援物資、乗員保護班、大型バス、休憩場所（ホテル等）体制確保
- 走行不能車対策として布タイヤチェーンを巡回車に配備、レッカー配備

■ 冬用タイヤチェック（自動判別装置の導入）《継続》

- 冬用タイヤチェック時にはAIによる自動判別装置を導入（米子IC、摺鉢山チェーンベース）
- 渋滞緩和によるお客様への負担軽減やチェック要員の業務軽減を図る

■ 幅広い媒体での広報実施 《継続》

- 各種媒体により大雪予報、出控え、広域迂回、冬用タイヤ装着・チェーン携行等の注意喚起を実施
 - ホームページ、テレビCM、ラジオCM、ポスター・デジタルサイネージ、仮設LED情報板
 - アイハイウェイ（専用サイト）、道路情報板、X（旧ツイッター）
- 通行止め可能性マップをホームページ掲載

職員の応援派遣体制

状況に応じて現地対応可能な態勢(初動出動態勢)を構築済

① 2月19日(水)夜 智頭町内スタック発生での対応

- ・県庁・東部庁舎から国道373号線現地に 計49名を派遣

② 初動出動態勢(継続中)

- ・東・中・西の各圏域で各30名の24時間即応派遣体制
その後も圏域で各30名ずつ順次ローテーションで派遣可能
- ・想定される業務内容
道路各地点での状況監視、立ち往生が発生時の車両への物資配布、
道路での車両誘導、避難所支援、市町村役場等での情報連絡員 等

国道373号における車両滞留事案に係る対応状況

2月19日(水)夜

- 旧山郷小学校に現地指揮所を設置
- 智頭町山郷公民館にドライバーの休憩所を開設(支え愛避難所)
⇒救援物資(水、食料)を山郷地区振興協議会から必要に応じて提供
- 応援部隊を現地に派遣

「大雪支え愛地域」の設定について

「大雪支え愛地域」として事前登録し、大雪発生時の立ち往生ドライバーへの食糧やトイレの提供、又は発生に備えた非常食の備蓄などの「支え愛活動」に市町村を通じて支援

※2/19の国道373号における車両滞留事案では、

登録地域の「山郷地区振興協議会(智頭町)」が、ドライバーへの支援を準備

※県内20地区が登録 米子市(14地区)、智頭町(3地区)、日南町(3地区)

■大雪支え愛活動推進事業(市町村を通じて支援)

令和5年1月の大雪による車両の立往生発生の教訓等を踏まえ、補助制度を創設

- 補助率: 1/2 ●補助上限額: 300千円/地区
- 補助対象経費: 立ち往生発生時の活動費や発生に備えた訓練等の活動費及び備蓄非常食・資機材整備費